

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」

採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	帝塚山大学	整理番号	1-3-049
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	学生の自立性を高める教育学習支援システム －TIES ライブ塾とサイバーチューターを活用して－		
申請単位	大学全体		
申請担当者	中嶋 航一		
<p>(取組の概要)</p> <p>学生の多様な学力に配慮し自立的な学習意欲を涵養するため、帝塚山大学では 1997 年より e-ラーニングによる教育学習支援の取組 (TIES) を大学プロジェクトとして促進してきた。その結果、学生の個々の理解度と関心に対応した 2,000 に及ぶ電子教材を準備し、それらを利用した講義を全学部で展開することにより、学生の主体的な学習と学力の向上に成果をあげている。更に、社会で活躍する実務家とインターネットを介して連携し、社会の生きた体験と現場の情報をライブで授業に取り入れることにより、学生の学問に対する動機づけと大学教育の質の向上を実現している。また本取組で利用している TIES は他大学の教員にも自由に利用してもらえるようになっており、現在 8 大学の教員が TIES を通して教材の共有や授業連携に参加している。そして本取組が次に目指すものは、学生の自主的な問題発見と独創的な解決能力を育むのに有効な教育学習支援システムの開発とその実践である。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、貴学が、教養教育により涵養された良心と品格、新時代の要請に応える実学的な専門教育による創造的な知性の開拓、自身の無限の可能性に対する学生の自信と誇りを育むという教育目標を掲げ、1997 年 5 月に経済学部から着手し、以後 1998 年における大学プロジェクトとしての選定を経て、2003 年度にその組織的な支援体制を構築したものです。</p> <p>1990 年代に入って以来、我が国の大学の学部教育をめぐって、学生の基礎学力の低下や主体的な学習意欲の喪失が指摘されつつありますが、貴学は「学生の自立性を高める教育支援システム」の構築によってこのような状況を改善することに努力しています。</p> <p>本取組は 3 つの特色をもっています。第一は学生の多様性の認識、教員側の工夫の必要性の認識及び大学の教育組織としての自覚という「哲学」が前提となっていることです。第二は、e-learning のシステムである TIES 運用に際し、教員の手作りによる大量の電子教材 (2004 年度 : 1985 種) を用意し、ライブ録画による教材をも併用し、学生の学習履歴の水準と対応させつつこれらを体系的に組み合わせ、他方で 1 授業に複数の教員と TA を配置しながら、きわめて綿</p>			

密な個別指導を実施なさっていることです。第三は、社会で活躍する人材が「TIES ライブ塾講師」として招請され、また学内における各部署の職員と教員が「サイバーチューター」としてネットを通じて学生の学習・生活・就職等を指導する体制が整備されていることです。これらの特色をもつ本取組は e-learning をまだ導入していない大学だけでなく、すでに導入している大学にとっても、有用な参考となるものと考えられます。

なお、将来は、卒業論文・卒業研究・体系的な実習報告など高度の集中性と創造性を必要とする科目を含む大学全体のカリキュラム体系の中で、TIES 方式適用科目をどのように位置づけるかが明確にされねばならないでしょう。また教材を共有する他の大学をどのような基準で選択するかに関する説明責任をも果たしていただきたいと存じます。